

写真でつながる2024軽井沢フォトコンテスト結果発表！

応募総数約1,000点の中から選ばれた受賞作品の発表です！

グランプリ	fumikoota01	寒い朝！
もう一度会いたい軽井沢賞	mine_nao	残雪期の石尊山で迎えたご来光
	rollingstone1964	アオゲラ
軽井沢の色賞	chocolat19bonheur	際立つ黄葉
	chappypapa1111	高原の町に行く
美しい村賞	nkym935	煌めきの邂逅
	tuwufangxiao3	残月の浅間
冬ものがたり特別賞	h1r0k1_ph0t0	冬の暖かい夜
	kum.mizu	雪の朝の早起きさんの足跡
	maminakachan	軽井沢のウユニ塩湖
	isao.ninomiya	春を待つ
	suzuranribbon	ゆきんこ
	contaota12	離山の遠望
	mimosa.douga.labo_karuizawa	軽井沢ブルー
	mitsuru_chung	池上の点々



受賞作品は公式ホームページにて公開中！



公式ホームページ

写真でつながる 2025 軽井沢フォトコンテスト 募集中！

軽井沢で撮った“いいね！”と思える瞬間をシェアしませんか？

写真を通して軽井沢の魅力を再発見し、発信するフォトコンテスト「写真でつながる2025軽井沢フォトコンテスト」を開催中！

テーマ 「伝えたい軽井沢」「のんびりゆったり軽井沢」

募集期間 2025年4月1日～2026年2月1日

- 応募要項
- ① 軽井沢で「いいね！」と思った瞬間を撮影
 - ② Instagramで公式アカウント(@karuizawaphoto.official)をフォロー
 - ③ #2025karuizawaphotocontest をつけて投稿
- ※受賞作品は、公式アカウントでリポストさせていただきます



詳細はこちらから

第10回軽井沢 WEB 検定を開催しました

知っているようで知らない軽井沢を、もっと深く知るチャンス！

軽井沢観光協会では、軽井沢の自然・歴史・文化・建築・生物・文学など、幅広い分野にわたる知識を問う「軽井沢 WEB検定」を毎年開催しています。今年で記念すべき第10回を迎えた検定は、2025年2月2日（日）・3日（月）の2日間にわたり実施され、合計77名の方にご参加いただきました。

上位級にチャレンジするリピーターの方も増えており、年々関心の高さがうかがえます。今回は節目の開催ということもあり「軽井沢のことをもっと深く知りたい」という受験者の声が多く寄せられました。

検定を通して軽井沢の魅力を再発見し、今後の地域活動や観光案内、企業内活動や日々の生活にも役立てていただければ幸いです。

組織強化委員会 理事 高見康昭



GREEN BREEZE

グランプリ



fumikoota01 『寒い朝！』

「写真でつながる
2024軽井沢フォトコンテスト」



軽井沢観光協会広報誌

Contents

1 Special Interview 2p

Karuizawa tourism moves to the next stage

2 Ruizaちゃん！取材日記 4p

●職員視察・軽井沢星野エリア

●軽井沢の魅力をInstagramで発信中！

●観光案内所にぜひお立ち寄りください！

軽井沢観光会館～旧軽井沢シンボルマーク～

●軽井沢観光協会 新職員紹介

3 委員会活動報告 6p

●令和6年度 軽井沢町 ホスピタリティ講演会

●新年快樂～Welcome to Karuizawa～

●軽井沢での過ごし方の提案

●2025年輕井沢ウェディング合同バスツアー

4 軽井沢 information 8p

●写真でつながる2024軽井沢フォトコンテスト結果発表！

●写真でつながる2025軽井沢フォトコンテスト募集中！

●第10回軽井沢 WEB検定を開催しました

ようこそ標高1,000mのウェルネスリゾート軽井沢へ



Contents 1 Special Interview

Karuizawa tourism moves to the next stage



問 2011年頃は会議都市構想が具体化してきました

(土屋) 着任早々に「軽井沢リゾート会議都市推進協議会(KRCC※1)」が発足し、リゾートMICEの創出が始まりました。そのような地域の面的機運と活動が、G7・G20等の国際会議や大規模な学会、団体や企業等の研修が開催されるなど、ビジネス市場開拓に大きな変革をもたらしました。ビジネス市場は、閑散期や平日の稼働率、消費単価アップにもつながりますが、何より地域のブランドイメージ向上に大きな役割を果たしています。

(大雲) 軽井沢には様々なマーケティングセグメントがありますが、この時期は軽井沢にとって大きな転換点でもありました。今年度よりKRCCの会長にも就任しましたので、新たな戦略を構築してまいります。

問 2015年には「観光戦略会議」を設け、DMO※2の研究なども始まっていたようですが

(土屋) 観光立町である軽井沢は“観光まちづくり(観光地域経営)”

を進化していかなければなりません。DMOを念頭に専門家を顧問に迎え、研修会や国内外の先進地視察も行い様々な角度から検討してきました。そして、公益法人である当協会の活動自体がDMOに匹敵するとの結論に至りました。

(大雲) DMOは国の施策でもあり一定のムーブメントを起こしましたが、観光まちづくり経営には高度な技術(マーケティング、マネジメント等)と知恵と行動が求められ、国内のDMOが苦戦しているという現状があります。当協会の独立性を担保しつつ相応しい組織や活動の在り方を模索し進めます。

問 大局的な時流は聞きましたが、当協会の観光事業の現在地はどうでしょう

(土屋) 具体例は幾つかありますが、①軽井沢検定のWeb版への移行です。各地では地域検定ブームが広がりましたが継続性に難があります。事業の趣旨を継続しつつ、全国的に軽井沢ファン獲得とコミュニティー創出の可能性が広がりました。

軽井沢観光協会は14年ぶりに会長(代表理事)が交代しました。土屋会長が2011年着任以来大きな時代変化があり、新たな観光市場の開拓と組織強化も図りながら事業遂行をしてきました。

この度大雲会長を新リーダーに迎え、継続と新たな軽井沢観光の潮流などについてお聞きます。

(軽井沢観光協会 事務局 掛川 礼央)

(大雲) 地域の歴史文化の習得は観光ではマストです。受験者には町内企業のスタッフも多いとのことから、誇りと自信を持って様々なシーンで軽井沢の紹介ができれば良いですね。

(土屋) ②ドッグツーリズム推進です。ドッグとの共生社会構築のため軽井沢ルールを制定を考え、需要と供給相互のレベル向上やモラル啓発を基に先進地を目指しています。

(大雲) ペット同伴旅行は拡大中であることから注目のツーリズムです。軽井沢は先進地として期待に応えていかなければなりません。

(土屋) ③2016年に「美しい村(心身ともに美しい、健康的なリゾートスタイルを提供する)」とする“標高1,000mのウェルネスリゾート”戦略を掲げました。世界的にも健康産業は拡大しつつある中、ウェルネスを上位概念に据えることで、静養・食・エステ・スポーツ・自然体験・文化・芸術等、様々な事業形態でその効果が表れるという定義訴求に努めてきました。

(大雲) 他との差別化を進める大き

な要因です。健康で長生きは人類共通の願いですので、軽井沢の気候風土を根底に、深化させていきます。

(土屋) ④広域観光連携の推進で、任期中に「台湾苗栗懸三義郷」とは“互いの文化を尊重しツーウェイの関係性創出”「DMOさかい観光局」とは“新幹線延伸を契機とし異なる歴史風土の認識を基にしたツーリズムの展開”「ちの観光まちづくり機構」とは“松本⇄諏訪圏⇄軽井沢の新たな魅力創出・誘客”を進めました。既存する多数の連携協議会等があり、その都度進化させてきた自負もあります。

(大雲) 2025年度の指針でも触れますが、軽井沢内部完結型(滞留、消費等)ツーリズムからの脱却は大きなテーマです。人的交流や関係性を築くことにより世界観が広がります。

(土屋) その他にも、DXや生成AI研究・SNS展開・国内外誘客事業等、6委員会が様々な先進的な活動を進めてきました。当協会は人材の宝庫だということを認識できた14年でした。

(大雲) 観光の進化は止まりませんが様々な限界値もあります。既存活動を尊重しながらも選択と集中は進めてまいります。

問 大雲年度への期待と活動指針について

(土屋) 軽井沢は抽象的で精神的な言語を並べれば、上質な時間・空間・仲間(三間)が成立する環境です。そのようなことも含め、大雲会長は今日までのリゾートの歴史・文化は熟知していると思います。また、データや経営理論に強く、観光の進化やDXやAIの活用を進め、観光まちづくりもさることながら、各施設の人手不足や運営効率化を提案いただけると期待しています。また、注目度の高い軽井沢の観光リーダーとして皆の知見を統合しつつ、常に一歩前の感覚、集中と選択の手腕が発揮できることと願っています。

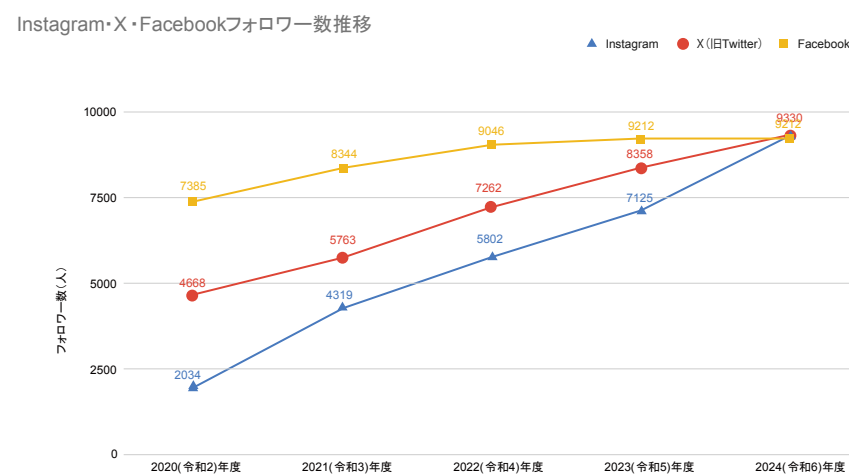
(大雲) なぜ私が観光協会長を務めるかという話ですが、私は起業家で様々な事業を興してきた経歴がありイノベーターであることが期待の背景にあると感じています。強い組織というのは内も外もバランス良く機能しています。先ほど前会長が仰っていましたが、人手不足や効率化のこと、また協会の財務の問題などの内側の解決は喫緊の課題です。外に向けては、すでにある事業をよりブラッシュアップするのはもちろんですが、町の人口(15歳以上)の8割以上が第3次産業に従事する観光立町軽井沢としての観光の重要性を十分に理解し、先人が築き上げてきた観光バリューをさらに進化させていくのが使命と思っています。外国人旅行者の誘客はもちろん、DX化によるデータ活用を駆使し「な

んとなく戦略」ではなくマーケットを把握し的確な施策を打っていく。また特に力を入れたいのが観光客を軽井沢だけに留めるような戦略ではなく、広域に観光動線を造り上げるような戦略も必要と思っています。

問 最後に一言を

(土屋) 改めて、感謝の14年でした。ありがとうございました。

(大雲) 最後になりますが、やらなくてはならないこと、やりたいことは無限です。ただその先には、軽井沢に観光で来た人、働く人、関わる人、そして町民、企業みんなが幸せになれるお手伝いを、この観光協会ですていきたいと思います。緊張感をもって、融和に努めつつ事業遂行してまいります。よろしくお願いいたします。



(※1) KRCC Karuizawa Resort Conference City:軽井沢リゾート会議都市推進協議会

(※2) DMO Destination Marketing / Management Organization:観光地域づくり法人



「はじめまして、大雲 芳樹です」

- 1964年6月27日生まれ
- 大学卒業後会社員を経て独立起業
- 現在ゴルフ場2か所・練習所1か所・レンタサイクル(町内に約700台所有)・宿泊施設2か所、飲食店6店舗を展開
- 他ガイドツアーなどの企画運営
- 日本ゴルフ指導者協会理事長
- 日本山岳ガイド協会専門委員
- 神奈川県スキー連盟専門委員
- 藤沢スキー協会会長
- 2022-2023軽井沢ロータリークラブ会長
- 現在 株式会社フィールド・マネジメント／株式会社プリモ 代表取締役
- 2025年5月より軽井沢観光協会会長就任



職員視察・軽井沢星野エリア

2月25日、今回は軽井沢星野エリアへ行って来ました。

歴史ある軽井沢高原教会や石の教会 内村鑑三記念堂、星のや軽井沢、森の中のケラ池スケートリンク、四季折々の信州の食を味わえる村民食堂、楽しみが詰まった BEB5 軽井沢 by 星野リゾート、広報担当者の皆さんのお話を聞きながら、森の中の施設を散策しました。中でも星のや軽井沢は初めて行きました。



星のや軽井沢は、浅間山麓の自然に囲まれた山あい位置し、コンセプトは「谷の集落に滞在する」です。「西洋の暮らしに迎合しすぎない日本があったとしたら」といった、仮想の「もう一つの日本」を思い描き創られたそうです。

特別な空間で時を忘れ心身を癒し、幸福感を味わえる・・・。
お話を聞きながら職員一同とても勉強になり、今後の案内業務にも役立てていきたいと思いました。

広報委員長 小林里恵

軽井沢の魅力をInstagramで発信中！

軽井沢観光協会では、数年前よりInstagramを活用し観光名所やオススメスポットをご紹介します。「#カラフル軽井沢」と題し、実際に訪れていた方々の投稿をご紹介します。3月上旬には、町内各地で取材を致しました。取材当日は雪が降った後の快晴の日ということもあり、青空に雪の白さが映えるまさに撮影日和！旧軽井沢銀座には人出も多く見られ、活気を感じることができました。今回は、春休みにぜひ訪れていただきたいスポットをテーマに町内で撮影を行いました。また、写真・動画に加え、SNSでも人気があるASMR（食事音）の撮影にも新たに挑戦。軽井沢の魅力を多角的に伝えられるよう、今後も新しい企画を試しつつ、積極的な投稿を行います。



広報委員会 Instagram 担当 福原佐和子

観光案内所にぜひお立ち寄りください！



観光案内所では日々観光で来られる多種多様なお客様をお迎えしております。軽井沢町を初めて観光で訪れた方や訪日外国人観光客のみならず、町民や別荘をお持ちの皆さまにもご利用いただいております。「最近免許を返納したが、町内のバスの乗り方が分からない。」「友人が軽井沢に遊びに来る予定だが、どこに連れていけばいいか分からない。」といったご相談にもお答えしています。観光協会員からお預かりした資料も取り揃えておりますので、駅をご利用の際はぜひお立ち寄りください！

観光案内所 山本恵莉

軽井沢観光会館～旧軽井沢シンボルマーク～



旧軽井沢銀座通りの中央に位置し、木造のレトロな外観で昔の軽井沢郵便局を模して建てられています。1階は「観光情報の提供」などを行う総合案内所となっており、散策やショッピングの合間の休息スペースも併設しています。

軽井沢の人気エリアで利便性が高く、イベント開催や会議・研修会など、さまざまなシーンに合わせてご利用いただける複合施設です。皆さまのご来館をお待ち申し上げます。

案内サービス一覧

- Karuizawa-Free-Wi-Fi
- 観光パンフレットコーナー
- 手荷物預かりサービス
- 休憩スペース
- ジオラマ
- 軽井沢鉄道ミニ博物館
- 公衆トイレ（有料）1回 100円
- 飲料・お土産販売
- しおり作り体験

- 貸しスペース
 - イベント開催スペース
 - 会議室
 - テレワーク室
 - 広告スペース

会議室・イベントスペースの
予約については
右記二次元コード



観光会館 荻尾文愛

軽井沢観光協会 新職員紹介

小清水 遼馬（こしみず りょうま）

軽井沢町で生まれた私ですが、町外に出ていた時間も長く、数年前に戻ってきてからは「毎日が軽井沢」という土地の魅力を再発見する新鮮な驚きの連続です。遠方から訪れてくださるお客様に軽井沢で過ごす時間の特別さや喜びを感じていただく手助けができるよう、まずは私自身が軽井沢を楽しみつくし、また学びを深めていきたいと思っています。皆様のお力をお借りしながら日々成長していければと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

千葉 善文（ちば よしふみ）

日々変わりなく過ごす事を喜びとしております。チーム最年長ですが、何とか来場者や会館の仲間のお役に立てます様に体力と精神力と維持して参ります。

令和6年度 軽井沢町 ホスピタリティ講演会

～外国人観光客への「おもてなし」を考える～

外国人観光客の増加が続く中、観光地としての受け入れ体制の充実が求められています。そこで当観光協会では、外国人観光客への理解を深め、より良い対応につなげることを目的に「令和6年度軽井沢町ホスピタリティ講演会」を2月12日（水）に軽井沢町中央公民館およびオンラインにて開催しました。

当日は、アメリカ・シアトル出身で現在は長野県千曲市の戸倉上山田温泉にある「亀清旅館」を経営するタイラー・リンチ氏を講師に迎え「言葉の壁を越えるおもてなし術～インバウンドお迎えホスピタリティ～」をテーマに講演をいただきました（当日は怪我のためオンラインにて登壇）。

タイラー氏は、自身の宿での体験や欧米からの個人観光客の動向を交えながら、日本の観光業において今後求められるホスピタリティについて語りました。特に、言葉の壁を乗り越える工夫や文化的背景を理解した対応の重要性に焦点を当て、「外国人観光客が求めているのは“完璧な英語”ではなく、“積極的なコミュニケーションの姿勢”である」と強調しました。

講演後には参加者との質疑応答の時間も設けられ、活発な意見交換が行われました。今回の講演会を通じて、欧米人にとって“顔の見える「交流型」のおもてなし”が重要だとあらためて考える機会となりました。

観光客の満足度が高まることで、リピーターの増加や新たな観光客の誘致、さらには観光収益の向上にもつながっていくことが期待されます。

今後も観光協会では観光事業者の皆さまと連携しながら、インバウンド対応力の強化に取り組んでまいります。

令和6年度 軽井沢町 ホスピタリティ講演会

言葉の壁を越えるおもてなし術

インバウンドお迎えホスピタリティ

タイラー・リンチ

亀清旅館

講師 タイラー・リンチさん

タイラー・リンチさん(54)は、アメリカのシアトル出身で、現在は長野県千曲市の戸倉上山田温泉で22年の歴史を持つ「亀清旅館」を経営しています。東洋と西洋の文化、日本文化に寄り添いながら、観光客の心をつかむために、おもてなしの心を大切にしています。外国人観光客の増加に伴い、言葉の壁を乗り越える工夫や文化的背景を理解した対応の重要性に焦点を当て、「外国人観光客が求めているのは“完璧な英語”ではなく、“積極的なコミュニケーションの姿勢”である」と強調しました。

日時

令和7年2月12日(水)

受付開始▶13:00

講演▶13:30

質疑応答▶15:00

場所

軽井沢町中央公民館

オンライン配信 (アーカイブ配信はございません)

参加費

無料

お申込みはこちら

※オンライン参加の方には当日のURLを後日お送りします

申込締切

令和7年2月5日(水) 12:00

どなたでもご参加いただけます。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

軽井沢観光協会公式ホームページ

https://karuizawa-kankokyo.jp

観光協会公式X

https://twitter.com/karuizawa_kta

実行主

主催 ■ 一般社団法人 軽井沢観光協会 TEL (0267) 41-3850

総務委員長 尾沼好博

新年快樂～ Welcome to Karuizawa ～

2025年2月1日(土)軽井沢駅南北自由通路にて、春節歓迎イベントを実施しました。

しなの鉄道沿線の長野から軽井沢までの各観光協会・JR軽井沢駅・しなの鉄道軽井沢駅・他関係者の皆さんと共同で行いました。訪れたお客様に、軽井沢へ来た目的や宿泊場所、平均的な旅費などについてのアンケートにもご協力いただきました。買い物や観光といった回答が多かったのですが、スキーや写真、食事をするために軽井沢に来たというお客様も一定数いました。東アジアや東南アジアの家族連れでのお客様が多く、イベント後半には、つくたての熱々お餅にきな粉をまぶしてふるまいました。お子様にも召し上がっていただき、その時の笑顔が素敵で今でもよく思い出します。

笑顔あふれる軽井沢にまた是非お越しいただけますように、来年も歓迎の気持ちを込めて実施したいと思います。

軽井沢観光協会 事務局 竜野茂康

軽井沢での過ごし方の提案

事業委員会は

- ①軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクト
- ②軽井沢ウェルネスリゾート推進プロジェクト
- ③町内イベント連携・運営協力

を主な事業としております。

ドッグツーリズム推進プロジェクトは今年9年目を迎え「犬と人間が健康で楽しく暮らせる町 軽井沢」をテーマに、マナーやモラルの啓発に重点を置く事により、わんちゃんが嫌いな方でも快適に過ごせる町づくりを目指しています。

2024年度に立ち上げました、軽井沢ウェルネスリゾート推進プロジェクトは「屋根のない病院 軽井沢」で心もからだも健康になっていただく過ごし方をすすめて行きます。その一つとして、軽井沢は海外から訪れた方から日本的な要素が少ないと言われますが、東洋医学である薬膳、日本古来の伝統文化である書道、茶道、日本の伝統的な健康法である鍼灸・指圧などを体験していただく事により、長期滞在型リゾートを目指します。



事業委員長 和貝たかね

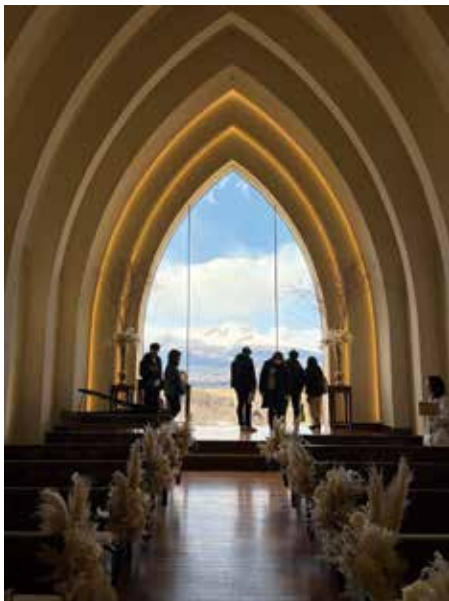
2025 年輕井沢ウェディング合同バスツアー

結婚式のオフシーズンである冬季に開催する「軽井沢ウエディング合同バスツアー」は、1日で軽井沢を代表する結婚式場を巡ることができるイベントです。冬季観光客増に貢献すると共に【ウエディングの町 軽井沢】の魅力を訴求し、結婚式予約に繋げる事を目的としています。ウィンターフェスティバルの様々な催事に触れ、ブライダルを通して軽井沢滞在需要の更なるアップを図りました。参加者は熱心に各式場での説明を聞き料理の試食を楽しみ、軽井沢ウエディングの魅力を感じる事ができとても好評でした。今回は昨年を上回る参加組数となり、多くのカップルに軽井沢へお越しいただくきっかけを作ることができました。

- 開催日:2025年 1月13日・19日・25日・2月1日・9日・24日
- 参加式場:8社
 - ・軽井沢プリンスホテル フォレスターナ軽井沢
 - ・ホテル軽井沢エレガンス 森のチャペル 軽井沢礼拝堂
 - ・旧軽井沢礼拝堂 旧軽井沢 ホテル音羽ノ森
 - ・星野リゾート 軽井沢ホテルプレストンコート
 - ・軽井沢倶楽部 有明邸
 - ・アネーリ軽井沢
 - ・ルグラン軽井沢ホテル&リゾート
 - ・旧軽井沢KIKYO キュリオ・コレクション byヒルトン
- 参加者:計6回 50組100名



右記軽井沢ウエディング協会公式HP



軽井沢ウエディング協会 催す会